



2015年3月8日

今回の博物館だよりは、3月8日（日）より展示している「常設展示室・展示資料追加」についてお伝え致します。

～常設展示室・展示資料追加～

このたび明石市立文化博物館では、常設展示室に新たな展示ケースを設置。一昨年の「発掘された明石の歴史-明石の古代-」で展示した「魚住泊推定地から引き揚げられた加工木（魚住泊の丸太材）」を展示しました。魚住泊の丸太材は保存状態が良好で全国的にも珍しく、郷土の港湾史解明に期待のもたれる貴重な資料です。当館発掘展担当学芸員は「大きく迫力のある資料ですから、子どもたちがこれを見て、昔の明石の港に興味を持ってくれたらうれしい。」と話しています。一昨年に見る機会の無かった方は是非、明石市立文化博物館までお越しください。



■常設展示室 新設ケースと追加資料

現在開催中（3月22日まで）

企画展

「くらしのうつりかわり展 戦時下のくらしと復興」

大人：200円、大高生：150円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は
当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。